

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成 26 年 5 月 24 日午後 2 時～
開催会場	帷子公民館
班長	山田 喜弘
副班長	酒井 正司
司会者	佐伯 哲也
報告者	出口 忠雄・亀谷 光
記録者	富田 牧子
パソコン操作	山根 一男
参加者数	42 人
実施内容	<p>・平成 26 年度予算審査および質疑</p> <p>・空き家問題への取り組みおよび質疑・意見交換</p>
主な意見 提言等	<p>【第 1 部】</p> <p>問：帷子小・春里小・広陵中・西可児中は児童・生徒の減少で部活も十分できない。学区を変更すべき。土田小から広陵中へ通えないか。</p> <p>答：学区については学校規模適正化検討委員会から、当面はいままで通りという提言が出て承認されている。土田地区から帷子には通ってもらえない。地元の意見を尊重。</p> <p>問：高齢者・生きがい推進事業に 1 8 9 0 万円とあるが、その内容は。一方で 9 月に中止となる健康づくり事業がある。</p> <p>答：ヘルスアップ事業は、エアロバイクの耐用年数が来ている。また、利用者が固定してきた。平成 2 6 年 9 月で中止となる。今後は広く提供できるサービスに変えたいということで見直しになった。</p> <p>問：さつきバスのルート変更になり、ヨシズヤで乗り換えなければならない。これまでのようにアーラや福祉センターへ行くルートに戻してほしい。一部にかなりひどいバスがある（ブザーがない、ステップがない）。</p> <p>答：議会で調査し報告する。</p> <p>問：水道料金が高いので値下げして欲しい。</p> <p>答：県からの受水費は下がったが、団地が多いので設備費、ポンプアップや電気料が高い。今後は老朽化・耐震化にお金を使わなくてはならない。</p> <p>問：名城大学について有効な使い方など、市や議会は動いているのか。</p> <p>答：名城大学は市のものでない。大学の意向を確かめている。議会は情報収集している。交渉事なので公表できない部分が多いが進めている。</p>

【第2部】

問：議会の空き家・空き地条例を期待していたが、突然止まるとこの問題が止まってしまう。確実に取り組んでもらえるのか。

答：国の法律が出来てから条例を作りたい。国の法律に則った上で早急に作りたい。

問：更地にすると固定資産税が6倍になるので、空き家で放置している場合が多いが、それを変えられるのか。

答：当初の法案にはあったが、税制上無理ということで削られた。現状では税制面が変わらないが、今後進むのではないかと期待している。

問：市のホームページでは、空き家バンクの登録は57件しかない。広く働きかけているのか。

答：空き家バンクとして桜ヶ丘1件、鳩吹台1件しか契約ができていない。今後も普及に努めたい。

問：空き家条例を先に作って、後で修正したらどうか。

答：国の法律を超える条例は難しいので、国で決まったらすぐ条例づくりに取り組む。

平成26年5月26日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 会場 帷子公民館 班長 山田喜弘 ㊞